

湯川 挨拶

昨年のお1回京都会議の際いろいろ勉強したから、その
のみにさらに深く研究しやりかたをいろいろ門辺におつた。
その後軽井沢で勉強会をし、ダートマス会議の報告会
北

お9、10回バグワウオツレに会議への出席や報告等、いろいろ
努力を怠らなかつた。

一方内容的には、昨年10月のキューバ旅行を経て、世
界的不情勢に進展があった。そこで私達はこのテーマ
に7、8、今回は会議も用くことにした。

- (i) キューバ後の世界情勢
- (ii) アジアの中の日本
- (iii) 科学者の社会的責任

(iii) のテーマは以前から implicit には考えられ、実践
されてきたものである。

この会議は用いられたい印象ともっていらっしゃる
方もいろいろ、私共は解放的方針であることと理解している。
例えは今夜の会議の出席者の半分以上はお1回と違つて
いる。

又、お2回会議を広島県でもつたということも、この
会議の性格にあつたことでは守るべきかと考へてゐる。